

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 森の宮福祉会	代表者	石塚 克哉	法人・事業所の 特徴	基本理念「笑顔・まごころ・ハーモニー」を念頭に寄り添う介護、支援を職員一同取り組んでいます。「通い」と中心に「訪問」「泊まり」を組み合わせたサービス提供を行なっています。音楽を取り入れたリハビリやレクリエーションにも力を入れています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ハミングベル緑橋	管理者	小栗 健太		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	5人	1人	0人	1人	0人	3人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			自己評価なので、個人の尺度は違ってくるが、職員同士がどう現状を捉えているのかが視覚化されているので、非常に良いと思う。常に振り返ることは大切だと思い、反省した点を改善したら良い。	各項目に対しての改善(目標)までの工程表を作成し、改善計画の優先順位や具体的な内容を常に意識し、情報共有していく。
B. 事業所のしつらえ・環境			あまり出入りしていないので、分からない。誰でも入れなくても、用事がある人が入りやすければ良いと思う。ハミングベルが町会にできたことで、住民交流の場となった。町会の方が迎え入れてもらったような感じがする。	運営推進会議の際に定期的に施設見学の場を設け環境改善に努め、地域の方が出入りしやすい事業所にしていく。
C. 事業所と地域のかかわり			よく地域行事に職員と利用者様が一緒に参加されたり、防災訓練を地域の方と一緒に進めたりしている。区内からの利用者様であれば馴染みのある地域に個別で参加できるとなお良い。	引き続き積極的に地域行事の参加をし、防災訓練も地域の方を協働し行なう。また、地域の方の集いの場となるよう地域向けのカフェや行事を行なっていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み			よく近所のスーパーや喫茶店など、利用者様と職員が行っている。	利用者様以外のご近所の心配な方に事業所の関わりはまだまだ少ないので、気軽に相談できる場になるよう、地域に出向き交流を深めていく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み			地域での取り組みを一緒に取り組もうとしますかではなく、ハミングベルで行なう取り組みを地域と一緒にさせてもらっている感じが強い。非常に多くの地域関係者が参加しており利用者様、家族様も参加している。良い面だけが報告される傾向があるので、課題が外部者から見えにくいのも事実です。	事業所の課題やその課題の改善点など、気軽に話せる運営推進会議になるよう、話しやすい雰囲気づくりをしていく。
F. 事業所の防災・災害対策			町会の防災拠点となると思うので、お互いに協力しあっていきたい。	防災訓練だけでなく、地域の一人として防災対策の勉強会の開催を企画、実施していく。